

国際規格の動向—国際会議に出席して—

須賀茂雄

ISO/TC61(プラスチック)

インド・ニューデリー国際会議

2015年10月5日～9日にISO/TC61(プラスチック)の会議がインド・ニューデリーにて開催され、当社喜多英雄と片野邦夫と共に出席した。

(1)SC6/WG3 諸暴露

2015年10月5日にSC6/WG3の会議が行われ、韓国・ドイツ・チェコ・アメリカ・タイ・インド・日本の7ヶ国25名が参加した。ISO/CD 19721はPlastics — Abrasion test method for artificial turfs using simultaneous UV exposure and mechanical wearについて話し合った。日本からこの試験方法では均斉度が疑問とのコメントに対し、照射試験と摩耗試験を分離し、交互に行う試験方法に変更。それに伴い、規格名も変更する。再度CDを回送することとなった。

(2)SC6/WG2 光暴露

2015年10月5日～6日にSC6/WG2の会議が行われ、韓国・ドイツ・チェコ・アメリカ・インド・フランス、イギリス・日本の8ヶ国25名が参加した。ISO 4892-1(プラスチック—試験所光源への暴露方法—第1部:一般的手引)はDISを承認し、FDISとなった。ISO 4892-3(第3部:紫外線蛍光ランプ)は一部直した後、FDIS投票が10月22日開始となった。ISO/DTS 19022(プラスチック—高照度による試験室内風化作用の制御加速の方法)が発行となった。ISO 877-1～3(プラスチック—太陽放射への暴露方法—第1部:一般指針、第2部:直接暴露及び窓ガラス越しの暴露、第3部:集中太陽放射を使用する強化風化)は改正案が12月31日までに回送された。ISO 9370(プラスチック—耐候試験における放射露光量の機器による定量—一般指針及び基本試験方法)はスペクトルミスマッチの考え方のAnnexを追加しCDを承認し、DISとなった。

ISO 4582(プラスチック—温室内での自然光、自然の風化作用又は実験室光源に暴露後の色の变化及び特性の変化の測定)は測色の規格を最新の物(ISO11664シリーズとCIE15)にしたCDを承認し、DISとなった。

新規案件1. 韓国から追跡集光暴露とメタルハライドランプの再提案があり、12月31日までに回送された。

新規案件2. 日本から分光放射耐光試験方法が提案され、韓国、イギリス、ドイツ、アメリカ、インド、日本の積極賛成があり、新規案件登録し、2016年1月31日までに回送された。

須賀からCIE85改正のためのCIE/TC2-17がCIEの規則に合致しなかったため、廃止された報告があり、Ad-Hocグループを作り、再度TC立ち上げとCIE85改正案をアメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、日本の協力のもと進める事となった。

(3)SC2/WG2 硬さ及び表面特性

2015年10月7日にSC2/WG2の会議が行われ、韓国、中国、チェコ、インド、イタリア、ドイツ、マレーシア、タイ、イギリス、アメリカ、日本の11ヶ国、21名が参加した。

ISO/WD 19278(プラスチックの計装化押込み硬さの試験方法)は、寄せられたコメントがPL(プロジェクトリーダー)から報告され議論が行われた。結果、PL宮崎氏は書類を修正し、適用範囲を熱可塑性プラスチックと非強化材料に限定することに同意した。書類を修正後、CDに進めることが合意された。

ISO PWI 20329(往復摺動試験パネル方法による摩耗抵抗の求め方)は、PLの当社片野がWD案を2015年10月末までに完成し、投票のために提出すると説明した。さらに、PLは、WD 20329の主な内容について説明するためのプレゼンテーション

ンを行った。

次の2件の定期見直しは承認された。

ISO 2039-1:2001 (第3版) (硬さの求め方、第1部: ボール押し込み硬さ) ISO 2039-2:1987 (第2版) (硬さの求め方、第2部: ロックウェル硬さ)

(4)SC6 全体

2015年10月8日にSC6の会議が行われ、韓国・ドイツ・チェコ・アメリカ・インド・イギリス・フランス・日本の8ヶ国25名が参加した。各WGの案件が承認された。CIE85改正については、CIEでの新TC立ち上げをサポートし、来年の会議でAd-Hocグループを立ち上げる。また、CIEとのリエゾンオフィサーに須賀が指名された。



TC61/SC6 会議風景

ここ2~3年、韓国からまだ実験段階での新規提案が目立つ。国際規格(ISO)とは何か再度考える必要がある。

ISO/TC38/SC1 (繊維) フランス・リヨン国際会議

2015年10月13日にISO/TC38/SC1(繊維)の会議がフランス・リヨンにて開催され、当社喜多英雄と共に出席した。

韓国・ドイツ・アメリカ・インド・フランス・イギリス、スペイン、パキスタン、中国、スウェーデン、イラン、日本の12ヶ国51名が参加した。

WG1では、コンベナーを今回が最後で交代し、ISO 105-B06(繊維-染色堅ろう度試験-第B06部:高温での人工照明に対する染色堅ろう度及び老化:キセノンアーク灯試験)の定期見直しについては、ラウンドロビン試験の是非で議論が紛糾したが、WG内で話し合い、2016年1月末までに意見をまとめることとなった(現在Task groupで審議継続中)。

WG7では、アメリカから測色関係の提案があったが、具体的な提案が送られていないため、今後回送する。

新規案件としてインドから天然染料の解析方法について提案があり、回送した。

尚、WG3では、日本提案の窒素酸化物試験ISO DIS105-G01とISO DIS105-G04はFDIS投票に進められる。

次回は、2017年10月にWG会議を2日間開いた後、SC1を行う。



TC38 メンバ

ISO/TC79/SC2 (軽金属及び同合金) イギリス・ロンドン国際会議

2015年10月23日にISO/TC79/SC2(軽金属及び同合金)の会議がイギリス・ロンドンにて開催され、イギリス、中国、ドイツ、日本の4ヶ国14名が参加した。

SR(定期見直し)の投票結果及びコメントについて話し合われ、次の6件の規格について改正が決定し、各PLは2016年2月29日までにDIS案を作成することになった。

- (1) ISO 2135(アルミニウム及びその合金の陽極酸化-着色陽極酸化皮膜の人工光源を用いた促進耐光性試験方法)
須賀がPLになった。
- (2) ISO 10216(アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化-写像性の測定方法-機器測定法)
須賀がPLになった。
- (3) ISO 10074(硬質陽極酸化被膜)
Dr. Furneaux氏がPLになった。
- (4) ISO 2143(染料吸着試験)
大中氏(ISO国内委員会委員長)がPLになった。
- (5) ISO 2931(アドミタンス測定試験)
Dr. Furneaux氏がPLになった。
- (6) ISO 7599(陽極酸化被膜-一般規定)
Dr. Furneaux氏がPLになった。



TC79/SC2 メンバ

ISO/TC42 (写真 / 画像の保存性) アメリカ・ワシントン D.C. 国際会議

2015年11月16日～19日にISO/TC42(写真/画像の保存性)の会議がアメリカ・ワシントンD.C.にて開催された。

2015年11月18日～19日にWG5/TG3の会議が行われ、ベルギー、アメリカ、スイス、オランダ、日本の5ヶ国18名が参加した。

- (1) ISO 18937(キセノン試験)改正について、須賀より試験片(Gray 0.75 OD)の温度測定データを説明し、 ≤ 80 klux, BPT $\leq 30^{\circ}\text{C}$, CAT 23-27 $^{\circ}\text{C}$, 50%rh, 試験片(Gray 0.75 OD) 温度27-30 $^{\circ}\text{C}$ の記載について提案した。提案のBPT $\leq 30^{\circ}\text{C}$ の条件は、ATLASとQ-Labでも測定して決める。また、ISO 18937の構成をプラスチックの耐候性試験規格ISO 4892シリーズを参考にPart制にすることが審議され、各PartのPLが決まった。Part 1 General及びPart 2 Xenon-arcはMatt McGreer氏、Part 3 Fluorescenceは須賀、Part 4 LEDはHenry Wilhelm氏。
- (2) ISO 18930(キセノン耐候性試験)のTR化
各地域の屋外暴露との相関について発表があり審議された。TR番号はTR 18945となった。



TC42 会議風景

ISO/TC107（金属及び無機質被膜） イギリス・ロンドン国際会議

2016年1月25日～29日にISO/TC107(金属及び無機質被膜)の会議がイギリス・ロンドンにて開催された。2016年1月28日にISO/TC107/SC7(腐食試験)の会議が行われ、ドイツ、イギリス、フランス、フィンランド、韓国、中国、日本の7ヶ国20名が参加した。昨年、須賀がsecretary(国際幹事)に、伊藤叡氏(ISO/TC107国内対策委員長)がchair(議長)に選出されてから初の会議となり、両名で議事進行を務めた。

(1)リエゾンTCの見直しを行い、提案通り見直すことが承認された。

(2)SC 7のScope(適用範囲)について明確でなかったため、改めて“Standardization in the field of corrosion and porosity tests of metallic coatings, and non-organic coatings”とする案を須賀が提案し、審議の結果CIB投票することになった(その後SC7 CIB投票で承認され、TCに回送中)。

(3)SC7担当の全てのISO15件について、6月15日期限内でSR(定期見直し)中であることを確認した。

(4)定量封入方式のガス腐食試験について、須賀が、ISO 6988:1985 (TC107/SC7) とISO 3231:1993 (TC35/SC9)はほぼ同じ試験方法規格であるため、ひとつにまとめ、腐食試験のエキスパートが多くいるTC156に移し審議する提案をした。審議の結果SC7のCIB投票に回すことになった(現在3月31日期限内で

CIB投票中)。

次回は、2017年1月に日本(千葉県柏市)で開催される予定。

TC107/SC7でSR(定期見直し)中のISO規格

No.	規格番号	ISO/TC 107/SC 7
1	4524-2:2000	Metallic coatings – Test methods for electrodeposited gold and gold alloy coatings – Part 2: Mixed flowing gas (MFG) environmental tests
2	4536:1985	Metallic and non-organic coatings on metallic substrates – Saline droplets corrosion test (SD test)
3	4538:1978	Metallic coatings – Thioacetamide corrosion test (TAA test)
4	4539:1980	Electrodeposited chromium coatings – Electrolytic corrosion testing (EC test)
5	4541:1978	Metallic and other non-organic coatings – Corrodokote corrosion test (CORR test)
6	4543:1981	Metallic and other non-organic coatings – General rules for corrosion tests applicable for storage conditions
7	6988:1985	Metallic and other non organic coatings – Sulfur dioxide test with general condensation of moisture
8	10289:1999	Methods for corrosion testing of metallic and other inorganic coatings on metallic substrates – Rating of test specimens and manufactured articles subjected to corrosion tests
9	10308:2006	Metallic coatings – Review of porosity tests
10	10309:1994	Metallic coatings – Porosity tests – Ferroxyl test
11	12687:1996	Metallic coatings – Porosity tests – Humid sulfur (flowers of sulfur) test
12	14647:2000	Metallic coatings – Determination of porosity in gold coatings on metal substrates – Nitric acid vapour test
13	15720:2001	Metallic coatings – Porosity tests – Porosity in gold or palladium coatings on metal substrates by gel-bulk electrography
14	15721:2001	Metallic coatings – Porosity tests – Porosity in gold or palladium coatings by sulfurous acid/sulfur dioxide vapour
15	18332:2007	Metallic and other inorganic coatings – Definitions and conventions concerning porosity



TC107 メンバ